

コード	401050101
記入日	H24.5.29

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	横道 藤隆

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	水産加工ながさきブランド強化事業
----------	------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40105	基本事業名称	水産加工業の推進	目コード	2
事務事業コード	4010501	事務事業名称	ながさきブランド強化事業補助金費	細目コード	853
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町水産業補助金交付要綱 長崎県水産加工ながさきブランド強化事業費補助金要綱		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 加工業者		(対象指標1)	1業者			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・平成「長崎俵物」として認定されている水産加工品4品の販路拡大を目指し、物産展・商談への参加や研修会開催、機器等の整備、あるいは新商品の開発などの事業計画に対し、補助金を交付する。 →有川町漁業協同組合 →新魚目町漁業共同組合 →(有)松園水産	・有川町漁協（認定業者）より交付申請があり、補助金を交付した。	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****
		①	補助金交付件数	1件	100%	
		(達成率分析)	交付申請どおり決定し、補助金を交付した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・近年、消費者の食に対する「安心・安全」を求める傾向は年々高まってきており、高い衛生基準での加工生産が求められている。そこで、ブランド化による競争力のある商品作りを目指し、正確な情報開示を行うことで販売促進を図る。		*****	*****	*****	登録産品数÷ 目標産品数	*****
		①	登録産品数	8品目	133%	
		(達成率分析)	本年度、新たに4品目が「長崎俵物」に認定され8品目となり、目標の6品目を大きく上回る結果となった。			
		②	*****	*****	*****	*****
		販売額	153千円	100%	販売実績÷ 目標販売額	平成23年度
		(達成率分析)	新商品を開発し、153千円の販売が出来た。			

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 17 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 件	13	13	12	1	1
	②					
成果指標	① 品	6	8	4	4	4
	② 千円	94,431	94,431	94,278	153	153
総事業費 C (A+B)	千円	14,574	14,574	12,874	1,700	1,700
直接事業費 A	千円	9,674	9,674	8,674	1,000	1,000
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700
内訳	従事職員数	人	0.7	0.6	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	14,574	14,574	12,874	1,700	1,700

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	有川町漁協での加工事業は、重要な部門の1つであり、漁業者の所得向上・経営安定を支えている。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	商品開発改良事業、販路開拓事業、機器整備事業を実施することにより、生産体制の確立が図られた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	事業主体は、町の契約事務に準じて適正に事務を行い、効率よく実施できた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	特になし。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	ブランド品目については目標を達成し8品目となっている。今後は販売金額を増加させるよう原材料等の安定供給の課題解決に向け取組み支援していくこと。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。